

参加費用
(目安)

22～26 万円

※その他必要な費用や支援の詳細は29、30ページにて確認してください。

本学支援金
 約5万5千円適用後

留学期間(日本発着)

2027年2月21日(日)～2月27日(土) 7日間

【出発】関西空港

おすすめPOINT

- ▶ 引率、バディ制度がありサポート充実!
- ▶ 短期間で現地交流型の留学ができる!
- ▶ 世界遺産「アンコールワット」に行ける!

都市・大学紹介

都市	首都プノンペンは、行政・文化・経済の中心地であり、市内王宮にはカンボジア国王一家が住み、メコン・トンレサップ・バサック川の合流点に位置し、フランス植民地時代の趣も残す自然と調和した美しい都市
大学	平和な新しいカンボジア社会を構築することを目標に、英語とクメール語を用いたバイリンガル教育を実践している大型私立大学

形態	カスタム型(本学単独のプログラム)	人数	10～30名 ※応募者多数の場合は抽選
滞在	ホテル(1～3名/1室基準)		
食事	朝食		
単位	2単位(秋学期単位授与・受講登録上限外)		
要件	語学要件：なし ※学部・回生など応募資格を確認してください。		
査証	日本国籍：商用ビザ取得 ※代行申請/パスポート有効期限：入国時+6カ月以上		
その他	別途、食費(朝食を除く)、フィールドワークにかかる費用が必要です。		

【引率教員】庄子 萌(国際教育推進機構) ※担当教員が同行して学習サポートを行います。

【事前・事後講義】

出発前と帰国後に参加者全員対象の講義があります。

成績評価に関わりますので、どちらも出席必須です。

・事前講義：12月12日(土)午前 OICにて実施

・事後講義：2027年3月10日(水)午前 OICにて実施

※時間・教室等の詳細は決定後、参加者にお知らせします。

プログラムの特徴

- Global Fieldwork Project は、「体験・体感型海外留学プログラム」です。参加者でグループを編成し、グループごとに設定したテーマに沿って調査活動を行います。プログラム最終日のプレゼンテーション、および帰国後の事後講義でグループの成果発表を行います。
- 同年代のバディと交流を深めながら、参加者と協力して調査活動を進めることは、個人の旅行では味わうことのできない体験です。現地の講義ではカンボジアの社会や文化について理解を深め、フィールドトリップでは、アンコールワット等を訪問する予定です。
- 過年度フィールドワークテーマ
 - ・Comparison of tourism in Japan & Cambodia
 - ・Cashless Payment

報告書/参考資料



スケジュール

出発	【航空会社】ベトナム航空 午前 関西空港発 午後 テチョ空港着(プノンペン)
研修	・オリエンテーション ・講義 ・バディと顔合わせ、調査活動の相談 ・フィールドトリップ(予定/アンコールワット) ・フィールドワーク(3日間程度) ・プレゼンテーション(グループ発表) ・Farewellパーティー
帰国	午後 シェムリアップ空港発 翌日朝 関西空港着